

WOOD-TECHNOLOGYを磨き ECOLOGYを考え、丸紀は躍進し続けます。

健康志向や環境問題が注目されている現在、天然資源である木の持つ力が見直されています。健康で安全な建材としてだけでなく、住む人に温もりや、やすらぎを与える心にも優しい建材といえます。古来より「木」は日本人の生活に深く関わっており、「木のある暮らし」やそこから生まれる「和のこころ」こそ未来にわたり伝え残していかなければならないものではないでしょうか。私たち株式会社丸紀はウッドテクノロジーを通じて、「木の国」紀州から世界へ向けてメッセージを発信していきたいと考えます。

会社概要

社 名：株式会社 丸紀
Wood Mak コンポーネント事業部
設 立：平成6年3月15日
代表取締役：山田 道夫
資 本 金：2,000万円
従 業 員 数：45名

事業内容

- 銘木集成材の製造販売
- 和室造作材邸別セット販売
- 国産・輸入無垢材の販売
- 木製品の企画・販売

所在地

- 本社／工場
和歌山営業所
〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田2235-2
TEL.0738-22-2236 FAX.0738-23-1682
 - 東京営業所
〒135-0047 東京都江東区富岡2丁目8-15
TEL.03-5646-5125 FAX.03-5646-5064
 - 大阪営業所
〒561-0891 大阪府豊中市走井2丁目8-2
TEL.06-6858-0086 FAX.06-6858-0096
- URL <http://www.k-maruki.co.jp>
E-MAIL info@k-maruki.co.jp



優れた品質と合理性を追求した、和風造作材プレカット! 健康造作材としても高い評価を受けています。



当社ではいち早くJAS認定工場となり、整品の品質向上と「シックハウス症候群」対策に取り組んでいます。定期的に財団法人日本合板検査会(国土交通省指定)で品質管理テストを行い、現在自社工場製品はF☆☆☆☆(高い安全水準)にランク付けされています。同様に、協力工場に対しても厳密な品質管理チェックを実施し、安心してご使用していただける製品を供給しています。また、最近の住宅における健康志向を受け、素材を吟味・厳選したノンホルマリン無垢内部造作材の提供にも取り組んでいます。

本社工場内



モルダー
単板の厚み・仕上げ分の厚みを考慮した規格寸法で切断。



ホットプレス
芯材と単板を接着剤で貼り、プレスする。



耳とり機
芯材より単板が出ている部分を削り、同じ寸法にする。



横きり機
長さを規格寸法に切断。



サンダー
長辺・短辺を規格通りに研磨する。



自動梱包
水分・酸素・光など劣化原因となるさまざまな要因から保護するため梱包する。



製品庫
在庫棚に製品別に保管。

沿革

- 1953 (昭和28) 丸紀木材を個人創業、紀州のみかん箱仕組板を主体にした販売を開始する。
- 1954 (昭和29) 丸紀木材工業株式会社設立 (資本金1,200,000円) 国内外向け木箱仕組板を販売、販路方面へも販路を広げる。
- 1959 (昭和34) 輸出向け大型梱包用材に転向するとともに、地方最初のチップ工場を建設、製造にあたる。
- 1965 (昭和40) セキスイハウス(株)の部材加工を主体に、内装造作材を大成プレハブ、公団住宅、その他関東、関西のメーカーに納入する。
- 1967 (昭和42) 付加価値の高い製品づくりをめざし、仕上げ加工部門を設立。端材の再利用と品質向上をめざし化粧貼り集成材の研究に取組む。
- 1973 (昭和48) 内装間仕切材および造作部材の仕上げ加工技術を評価され、セキスイハウス(株)への納入額が売上上の95%を占めるに至る。
- 1976 (昭和51) 資本金12,000,000円へと増資。集成材(化粧貼作用)のJAS認定証を10月に受領。ボイラー、乾燥機、集塵装置など新設備導入。また、重油燃料からオガクズ燃料へと切り替え、製品コストダウンを計る。資本金19,200,000円へとさらに増資。

- 1979 (昭和54) 隣接地に工場(230坪)を増設し、一般建材銘木部を発足する。
- 1982 (昭和57) 資本金25,000,000円に増資。
- 1985 (昭和60) フィンガー自動投入、桑原モルダー製特殊測圧など大掛りな設備改善により販売力と生産面の合理化にあたる。
- 1988 (昭和63) 海外(アメリカ)材料供給会社との間においてL/C取引を開始する。
- 1990 (平成2) フィンランドよりログハウスの材料を輸入し販売を開始する。
- 1993 (平成5) 特注化粧貼り部門強化。

新生・丸紀のスタート

- 1994 (平成6) 株式会社丸紀を設立。倉庫を拡張、和室造作部別直送体制を確立。
- 1995 (平成7) 大阪出張所を営業所に昇格。
- 1996 (平成8) 和室造作部別配送のより迅速な体制をめざし、新倉庫を建設する。
- 1997 (平成9) 住宅部門充実のため全国フランチャイズのカスタムグループに入会する。本社工場製造設備、搬送設備の増強を計る。
- 1998 (平成10) 親会社である丸紀木材工業(株)より工場敷地2000坪の購入をする。

- 1999 (平成11) 資本金2000万円に増資をする。
- 2000 (平成12) 本社工場に連続自動セルフプレスなど設備を増強する。
- 2001 (平成13) 大阪営業所を豊中市に移転。
- 2003 (平成15) 中国の提携工場より技術支援をもとに集成材の輸入を始める。
- 2004 (平成16) 大阪営業所を拡大。本社工場の仕上げラインを、超仕上げからサンダー仕上げに設備更新し製品の安定化を計る。
- 2005 (平成17) 中国より研修生を受け入れ技術交流を計る。関東エリアにて部別販売を拡大するために東京営業所を開設。
- 2008 (平成20) <紀州材を利用した和の空間を創出するシステム家具「置き和室」の開発と販売>において「地域産業資源活用事業」の認定を受ける。
- 2010 (平成22) 関西から世界に通じる製品デザインとして「紀州材の置き和室」が近畿経済産業局2010「関西デザイン賞」89製品のひとつに採択される。
- 2012 (平成24) オーストラリアでの置き和室の販売代理店契約をNagomi-Japanと提携する。パース、シドニー、ゴールドコーストでの展示が始まる。